平成２４年１２月４日
NO.　８７

職連にゅーす

発行　ＪＡ福島県職員連盟
〒960-0231　福島市飯坂町平野字三枚長 1-1
ＴＥＬ/ＦＡＸ　024-554-3512 / 3510　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　kyojokai@alto.ocn.ne.jp

第５回ＪＡ福島県職員連盟盟友大会開催

～手をつなぎ未来を築くふるさと福島～

平成２４年１２月１日、福島市の「ＪＡ福島ビル」で第５回ＪＡ福島県職員連盟盟友大会が開催され、県内各ＪＡの盟友約２５０名が参加した。

盟友大会は、ＪＡ福島大会に合わせて３年に１回開催しており、第５回大会では、東日本大震災・原発事故発生により激変した農業・ＪＡをめぐる情勢を踏まえ、復興元年における本県農業の復旧・復興に向けた取り組みの実践事例を発表するとともに、第３８回ＪＡ福島大会での決議内容について再確認を行い意思統一を図った。

●実 践 事 例 発 表　「復興元年における本県農業の復旧・復興に向けた取り組み」

ＪＡ伊達みらい、ＪＡたむら、ＪＡ東西しらかわ、ＪＡそうま、ＪＡ全農福島の５ＪＡがＪＡの復旧・復興に向けた具体的な取り組みについて発表を行った。発表内容等は以下のとおり。

ＪＡ名	テーマ	発表者
伊達みらい	食の安全・消費者の笑顔のために	須田和弥氏・佐久間裕一氏
たむら	復興への若い力！新人職員サポーター制度	郡司源一氏・小松　功氏
東西しらかわ	ＪＡにできること（放射能から産地を守る）	下重勝則氏
そうま	ー咲かそう、そうまー　被害状況・復興の取り組み等	渡辺俊勝氏
全農福島	復興２年目のとりくみ～全農全体としての取り組み	猪股孝二氏

●大会スローガン表彰　「手をつなぎ未来を築くふるさと福島」ＪＡあぶくま石川　佐藤裕子氏

本県農業の復興とふるさと福島の再生に向けた、みんなの心を一つにするスローガンとして採用されたＪＡあぶくま石川の佐藤裕子氏を表彰し、金一封を授与した。

●大 会 申 し 合 わ せ

参加者は、以下のとおり申し合わせた。

ＪＡグループ福島は、第３８回ＪＡ福島大会において「大震災・原発事故からの再生と次代へつなぐ協同」および「ＪＡグループ福島の新たな組織体制の実現」に向けた実践について決議した。

農業をめぐる情勢は、農業人口の減少、高齢化による担い手不足や耕作放棄地が増加するなか、東日本大震災・原発事故により、農業生産基盤の損壊、度重なる出荷制限、農産物の価格下落と風評被害による販売の激減など、本県農業は存亡の岐路にある。

このような中で、私たちは「ＪＡグループ福島復興ビジョン」と、第 38 回ＪＡ福島大会で決議された実践事項の実現に向けて、消費者と共生する「安全・安心なふくしまの農業」の復興、「安心して暮らせる地域社会再生」への貢献、組合員・利用者の「営農とくらしを守る協同組合」の再構築に積極的な取り組みをすすめる。

あわせて、ＪＡグループ福島の新たな組織体制（４ＪＡ構想）の実現を通じて強固な組織・事業基盤を確立し、将来的にも組合員、地域社会から最も信頼され、第１に選ばれるＪＡづくりを目指す。

また、２０１２年国際協同組合年を契機に、あらためてＪＡ職員として協同組合の理念を学び、考え、行動する明るく活力ある職場づくりに努める。

職員連盟委員長挨拶の様子

表彰の様子